

第4学年 国語科学習指導案

日 時 令和4年9月21日(水)
学校名 小金井市立緑小学校
対 象 第4学年4組 33名
授業者 杉山 祐次郎

1 単元名 気持ちの変化を読み、考えたことを交流しよう

2 教材名 ごんぎつね

3 単元の目標

- ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やし、考えをまとめたり、交流したりする場面で使うことで、語彙を豊かにすることができる。〔知識及び技能〕(1)オ
- ・登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像し、自分の感想や考えをもつことができる。〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)エ
- ・文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くことができる。〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)カ
- ・互いの思いや考えを交流することで、言葉のもつよさや互いの考えのよさに気付き、伝え合う楽しさを味わおうとする。〔学びに向かう力、人間性等〕

4 単元の評価規準

ア 知識・技能	①様子や行動、気持ちや性格を表す語彙の量を増やし、考えをまとめたり、交流したりする場面で使うことで、語彙を豊かにしている。
イ 思考・判断・表現	①「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像し、自分の感想や考えをもっている。 ②「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。
ウ 主体的に学習に取り組む態度	①学習の見通しをもって、読んで考えたことを交流し、言葉のもつよさや互いの考えのよさ、感じ方の違いに積極的に気付こうとしている。

7 本時の内容（9 / 12時間）

（1）目標

ごんの思いが兵十に伝わったのかどうかについて読み取ったことを交流することを通して、考えを広げたり、新たな視点を見付けて深めたりすることができる。

（2）展開

	○学 習 活 動	◇指導上の留意点 ◆評 価
導 入	○前時を想起し、本時のめあてを確かめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">ごんの思いは兵十に伝わったのだろうか。</div>	◇めあてを示し、話合いの目的を明確にする。
展 開	○ワークシートに自分の考えを書く。 ○話合いの流れについて確認する。 ○グループで話合いを行う。 ・伝わったのか、伝わっていないのかを明確にして伝える。 ・自分の考えの根拠について伝える。 ・お互いの考えの共通点や相違点を見付けたり、どの考えがよりよいものなのか検討したりする。 ※「スクールタクト」でお互いの考えを見合うことができるようにする。 ○グループでの話合いの結果を全体で交流する。 ○学級全体で話合いの結果を確認する。	◇伝わったのか、または伝わっていないのかについて根拠を明確にして書くように声を掛ける。 ◇話合いの流れについて事前に確認をすることで安心して取り組み、意見交流が活発に行えるようにする。 ◆【主体的に学習に取り組む態度】 お互いの考えの共通点や相違点、どの考えがよりよいものなのか進んで見付けようとしたりしている。 (観察・発言) ◆【思考・判断・表現】 ごんの思いが兵十に伝わったのかについて考えたことを、根拠を明確にして書いている。 (発言・記述) ◇話合いの内容について書き足したいことがあった場合には、「スクールタクト」の画面上に書き足すようにさせる。 ◇ごんと兵十の関係の変化について、交流した内容を基に視点を押さえて板書し、児童が確認できるようにする。
ま と め	○交流後に、改めて自分の考えを書く。	◇考えが変化したり、広がったり、深まったりした点を中心に書くように声を掛ける。 ◆【思考・判断・表現】 ごんと兵十の関係の変化について、交流したことを振り返り、改めて自分の考えを書いている。 (記述)

